

# 欧州景気概況(2021年7月)

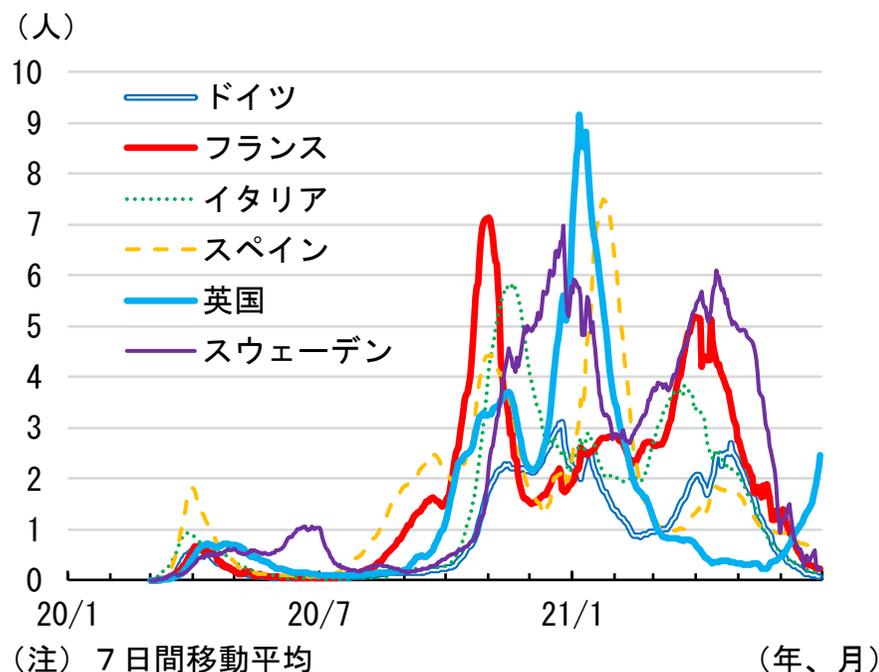
2021年7月2日

調査部 副主任研究員 土田陽介

# 新型コロナウイルスの感染状況

欧州でもインド由来の変異株(デルタ株)が蔓延、ワクチン接種で先行した英国では感染者数が再び増加している。一方でワクチン接種が進んだ結果、重症者数や死者数の増加が限定的となったことから、欧州各国は何れも行動制限の緩和を進めている。

### 人口一人当たりの新規感染者数



(出所) 欧州連合統計局(ユーロスタット)及び英国民保健サービス(NHS)、国際保健機関(WHO)

### 主要国の行動制限の概要

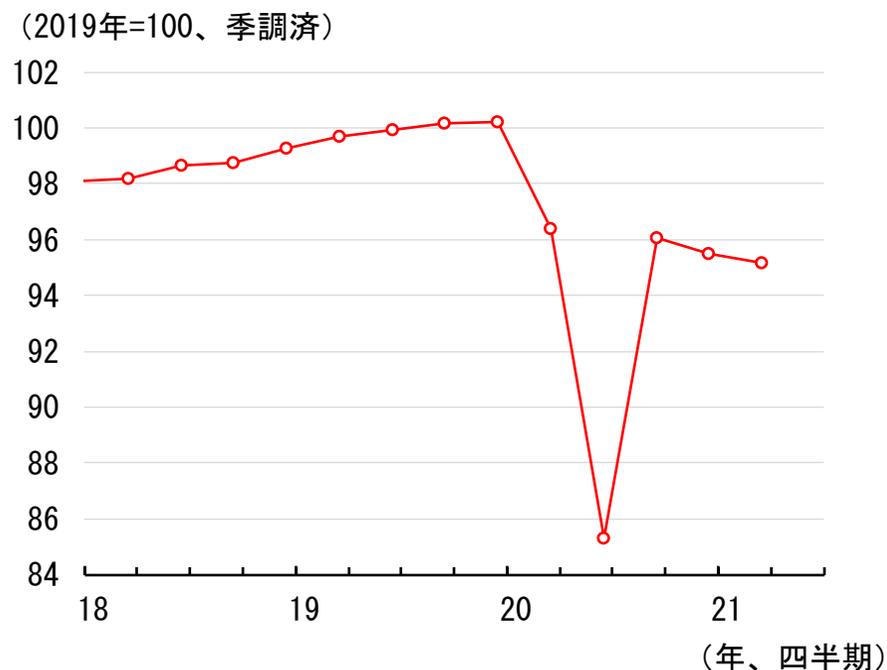
国名	内容
ドイツ	6月30日で「緊急ブレーキ」措置が失効、各州で指標に応じた行動規制緩和を実施。
フランス	6月17日にマスク着用義務撤廃(除くイル・ド・フランス)。6月20日に夜間外出制限を撤廃。一部の国を除き入国が自由(日本人も出入国が自由、ただしワクチン接種証明か陰性証明書などが必要)。
イタリア	夜間外出禁止を撤廃。州を跨ぐ移動の制限も撤廃。各種商店・娯楽施設の再開(ただしダンスホール、ディスコは休止を継続)。
英国	デルタ株の感染拡大を受けて、イングランドでの都市封鎖の全面解除を6月21日から7月19日に1ヶ月延期。

(出所) 各種報道

## ユーロ圏景気概況① 景気は悪化している

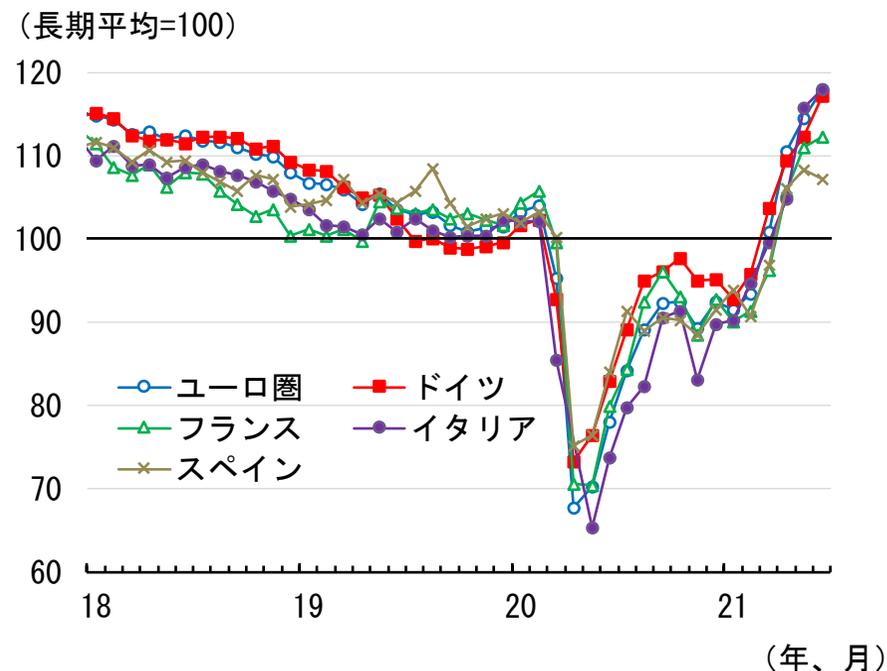
ユーロ圏の2021年1-3月期の実質GDP(確定値)は前期比-0.3%と2期連続でマイナス成長となり、景気後退に陥った。一方で最新6月の景況感指数は117.9と5ヶ月連続で上昇、輸出にけん引された製造業の景況感の改善テンポは鈍化した。行動制限の緩和を受けて非製造業の景況感や消費者心理の改善が急速に進んだ。

### 実質GDP



(出所) 欧州連合統計局(ユーロスタット)

### 景況感指数



(出所) 欧州委員会ECFIN

## ユーロ圏景気概況② 生産は頭打ち

ユーロ圏の4月の鉱工業生産は前月比+0.8%と3月(+0.4%)から増勢が加速したが、均した動きは頭打ちとなっている。特に米中向けを中心とする輸出が一服し、生産の重荷になっている模様。一方でドイツの6月のIfo景況感指数は101.8と上昇が続き、2019年4月以来の高水準を記録した。

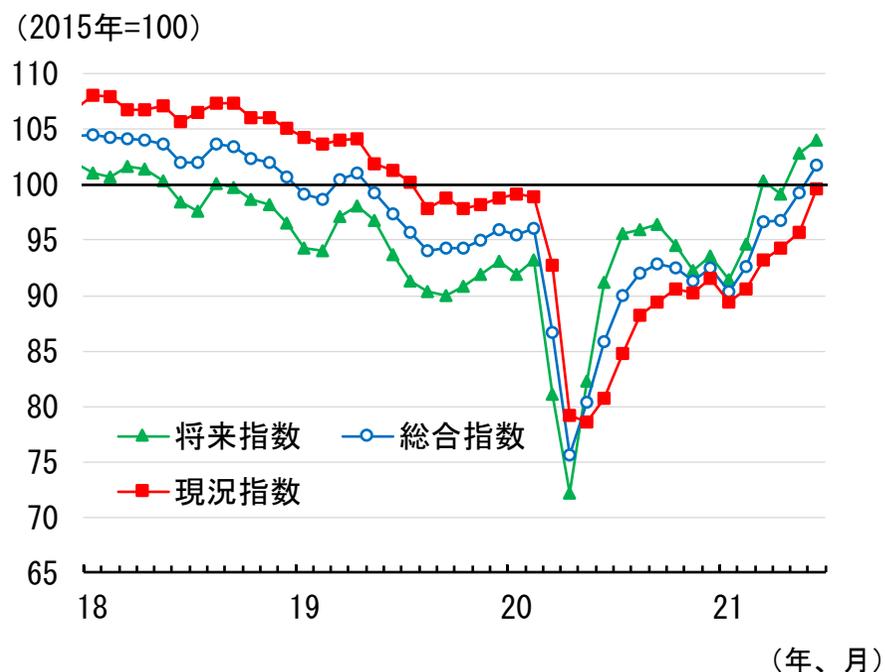
### 鉱工業生産



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均

(出所)ユーロスタット

### Ifo企業景況感指数



(出所)Ifo研究所

## ユーロ圏景気概況③ 消費は停滞している

ユーロ圏の4月の小売数量は前月比-3.1%と再び減少したものの、基調は足踏みしている。一方で5月の新車販売台数は前月比+1.7%の年率853万台と、回復基調にはあるものの水準が低いままである。新車市場の不調の背景には半導体不足という供給サイドの問題に加えて、行動制限に伴う内需の下振れという需要サイドの問題がある模様。

### 小売数量



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均

(出所) ユーロスタット

### 新車販売台数



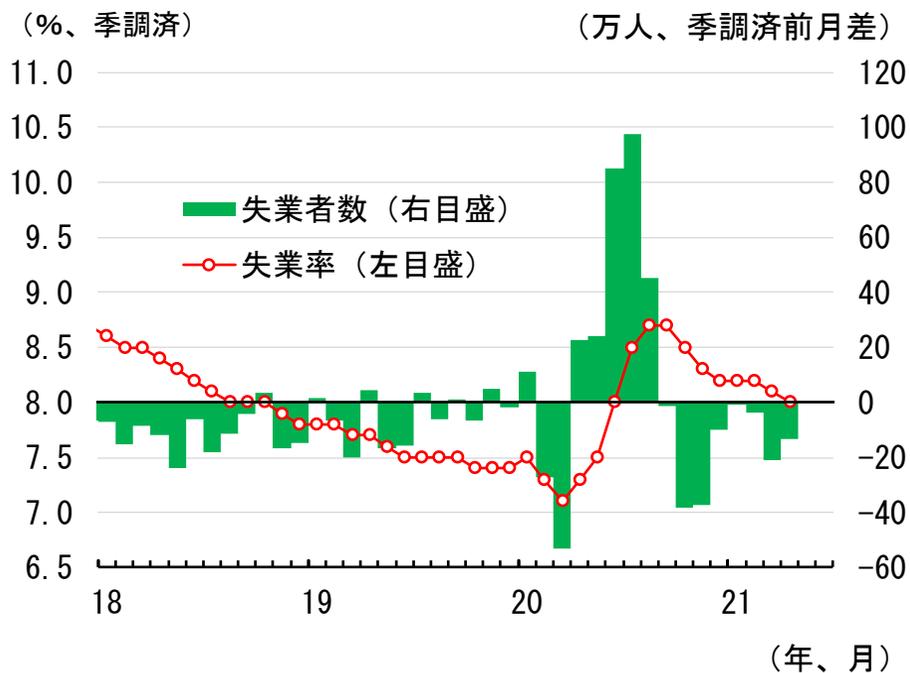
(注) 灰色線は3ヶ月移動平均

(出所) 欧州中央銀行 (ECB)

## ユーロ圏景気概況④ 雇用情勢は緩やかに回復

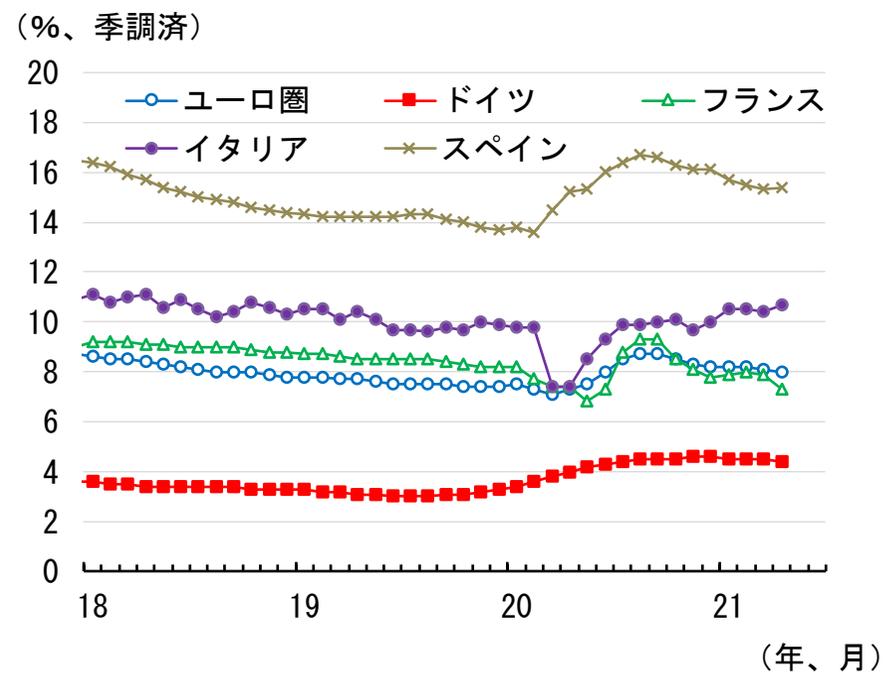
ユーロ圏の4月の雇用統計では、失業率が8.0%と2ヶ月連続で低下、失業者数が前月比13.4万人減と8ヶ月連続で減少した。主要国別に失業率を見ると、ドイツやフランスの失業率は緩やかに低下している半面で、イタリアとスペインはわずかに上昇している。

### 失業率と失業者数



(出所)ユーロスタット

### 主要国別失業率

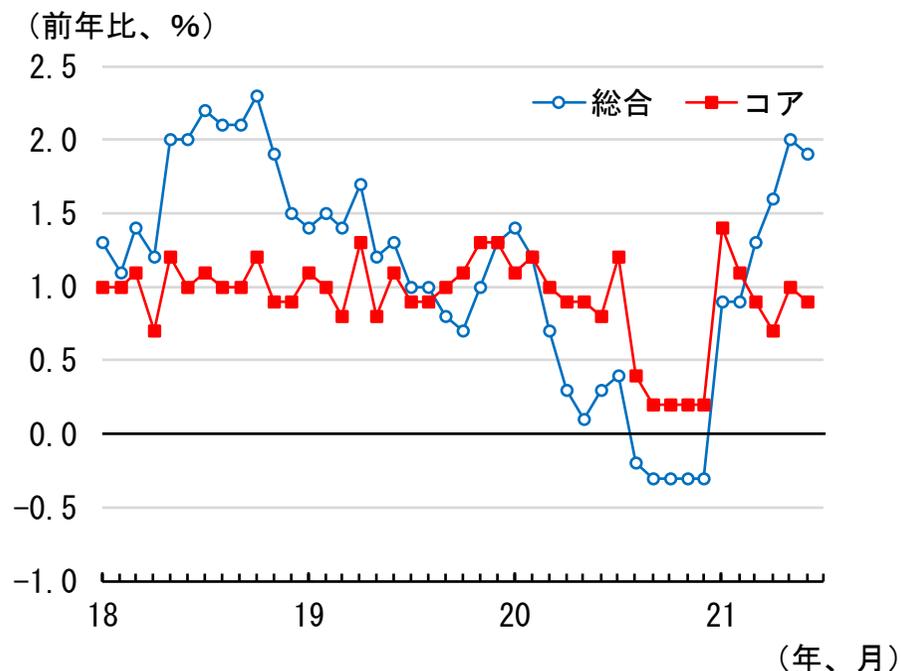


(出所)ユーロスタット

## ユーロ圏景気概況⑤ 物価はインフレが加速している

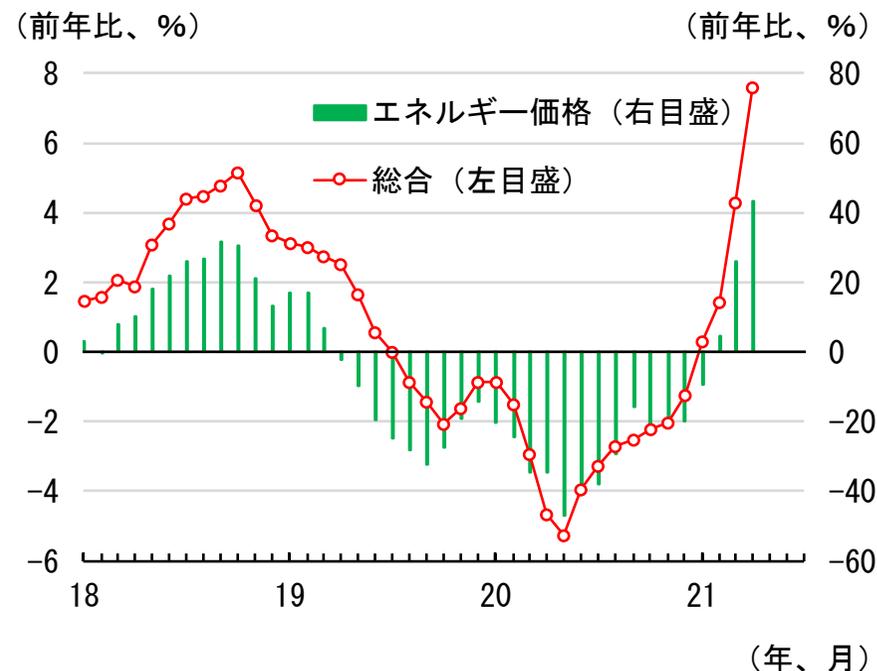
ユーロ圏の6月の消費者物価(速報値)が前年比+1.9%と高止まりした。ドイツで減税措置が終了したことやエネルギー価格の上昇が、物価を押し上げた。先行指標である生産者物価は4月時点で前年比+7.6%と、エネルギー価格の上昇が鮮明であることから、伸び幅の拡大が続いている。

### 消費者物価



(出所)ユーロスタット

### 生産者物価



(出所)ユーロスタット

## ユーロ圏景気概況⑥ ECBは既往の金融緩和パッケージを維持

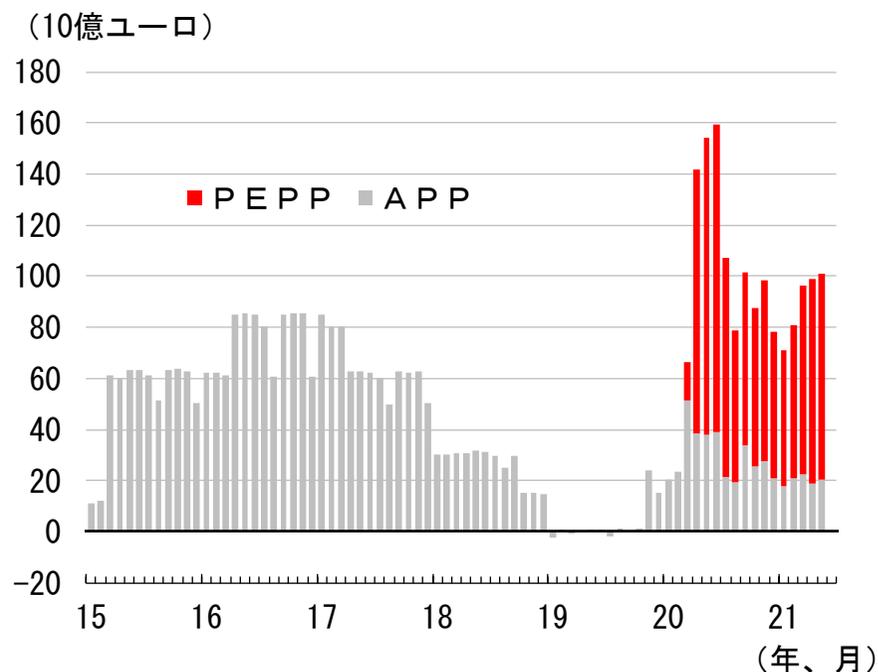
欧州中央銀行(ECB)は6月10日の政策理事会で既往の金融緩和パッケージを維持。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い導入したパンデミック緊急購入プログラム(PEPP)のテーパリング(段階的な減額)に関して、ラガルド総裁は時期尚早と発言。次回の理事会は7月22日を予定。

### ECBの金融緩和パッケージ

ECBの2020年12月理事会での決定の概要	
政策金利の据え置き	主要政策金利を既往の年0.00%に、また貸出金利を年0.25%に、預金金利を年-0.50%にそれぞれ据え置き。
資産購入策の強化	危機対応策であるパンデミック緊急対応プログラム(PEPP)での資産購入額を5,000億ユーロ増額して総額1兆8,500億ユーロに拡大。また期間を9ヶ月延ばして22年3月まで延長。再投資の期間も少なくとも23年末まで1年延長。 既往の資産購入プログラム(APP)は月額200億ユーロでの購入をオープンエンド型で継続。
資金供給策の強化	危機対応策であるパンデミック緊急リファイナンスオペ(PETLRO)を21年に4回追加 預金金利(現在▲0.50%)をさらに0.50%ポイント割り引いた水準(現状▲1.00%)で行う期間3年の資金供給策(TLTRO3)は22年6月まで期間延長。

(出所)欧州中央銀行(ECB)

### 資産購入の推移

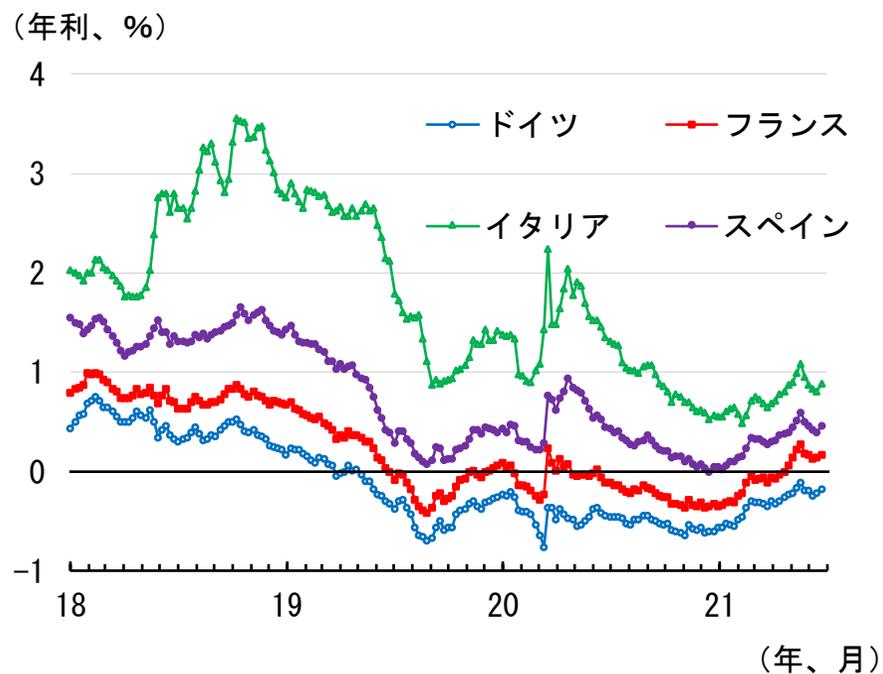


(出所)ECB

## ユーロ圏景気概況⑦ 金利は横ばい、株価は一進一退

6月のユーロ圏の長期金利は横ばいとなった。月前半はECB理事会を控えて金利は低下したが、月後半は米国のテーパリング観測の高まりを受けて上昇した。また株価(Eurostoxx50)も一進一退で推移した。景気回復期待が下値を支える一方で、金融緩和の修正観測が上値を抑えた。

### 長期金利



(出所)ECB

### 株価(Eurostoxx50)



(出所)STOXX

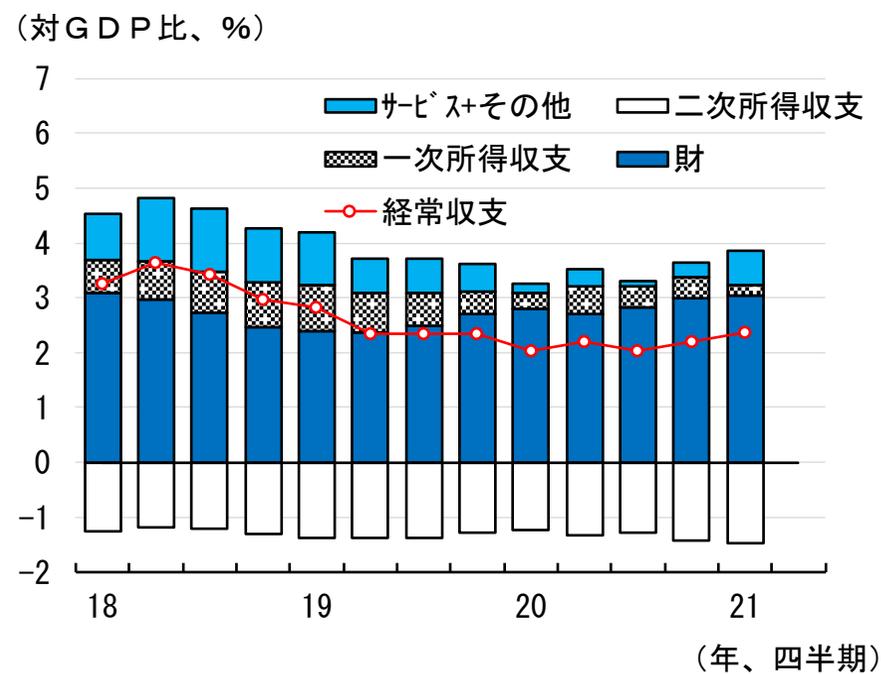
## ユーロ圏景気概況⑧ 対ドル・対円ともにユーロ安

6月のユーロ相場は対ドル・対円ともにユーロ安が進んだ。6月の米連銀の公開市場委員会(FOMC)でのタカ派的な決定を受けて対ドルでのユーロ安が進み、それにつられる形で対円でもユーロ安が進んだ。1-3月期の経常収支の黒字幅は10-12月期よりも拡大しており、実需面からの買い圧力は根強い。

### ユーロ相場



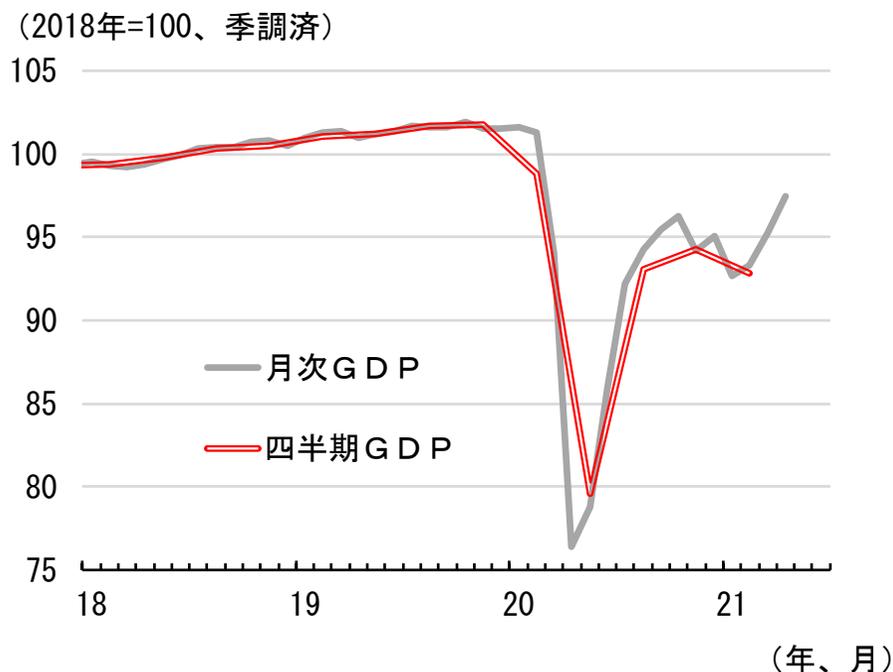
### 国際収支



## 英国景気概況① 景気は悪化している

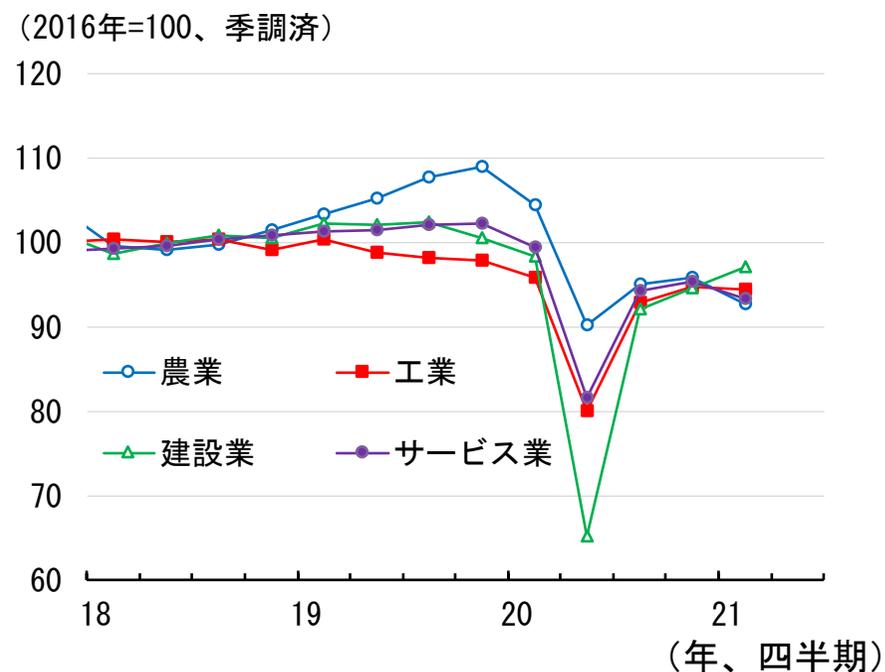
英国の2021年1-3月期の実質GDPは前期比-1.5%と、20年1-3月期以来となるマイナス成長になった。しかしながら、ワクチン接種の進展を受けて行動制限が緩和された4月の月次実質GDP(粗付加価値ベース)は前月比+2.3%と前月(同+2.1%)から増勢を強めた。5月以降、行動制限はさらに緩和されたため、4-6月期は高成長が期待できる。

### 実質GDP



(出所)英国立統計局(ONS)

### 実質GVA(粗付加価値)

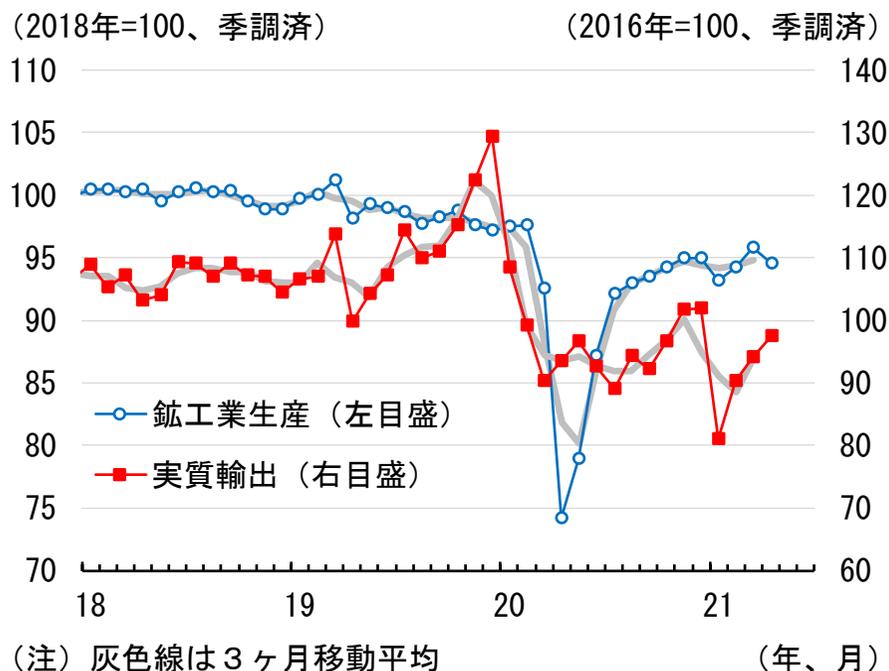


(出所)ONS

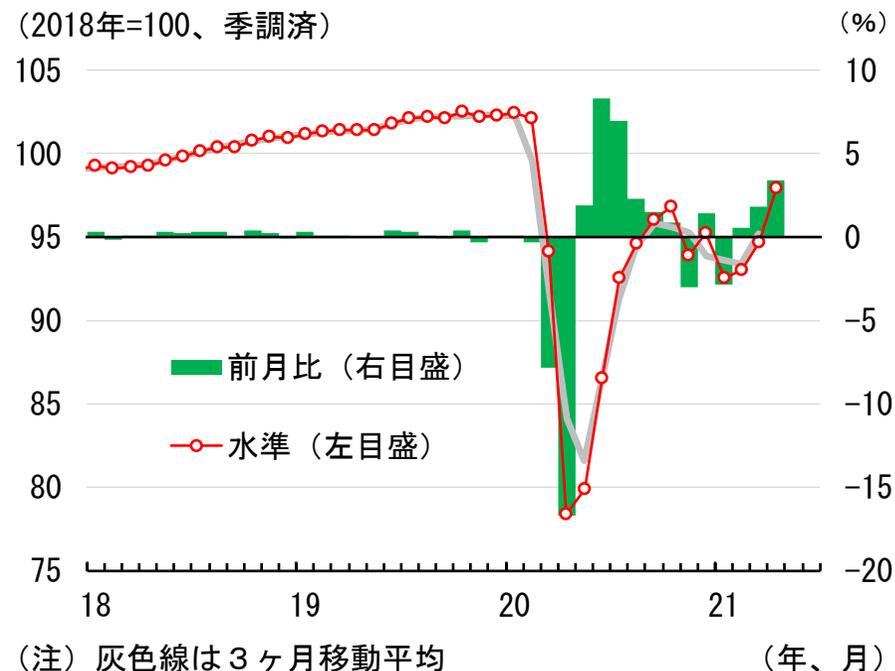
## 英国景気概況② 生産は横ばい

英国の4月の鉱工業生産は前月比-1.3%と1月以来の減少に転じたが、均した動きは横ばいとなっている。一方、同月の実質輸出は同+3.7%と3ヶ月連続で増加したが、トレンドは横ばいである。また4月のサービス生産も前月比+3.4%と増勢が3月(同+1.8%)から加速したが、均した動きは一進一退となっている。

### 生産と輸出



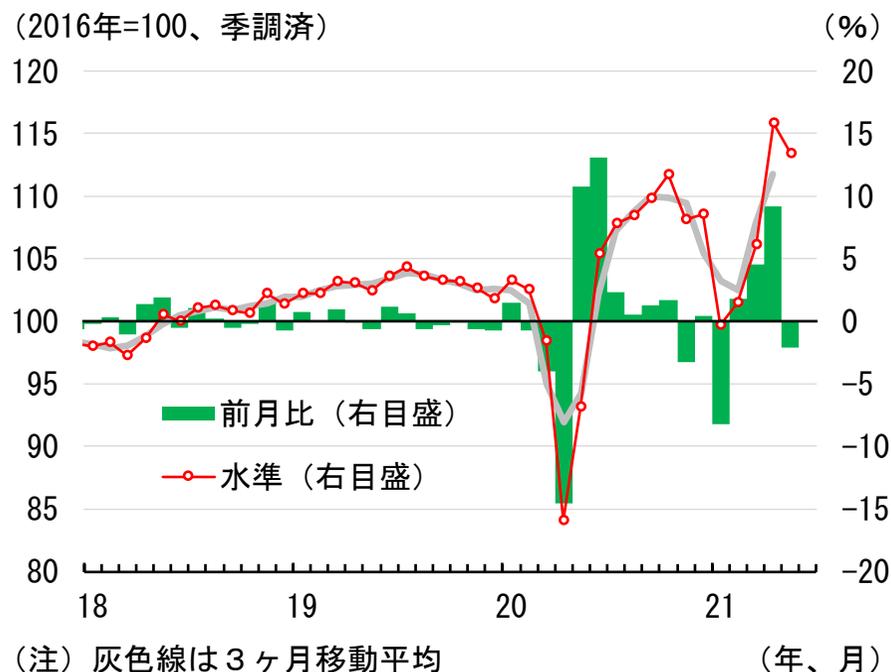
### サービス業生産



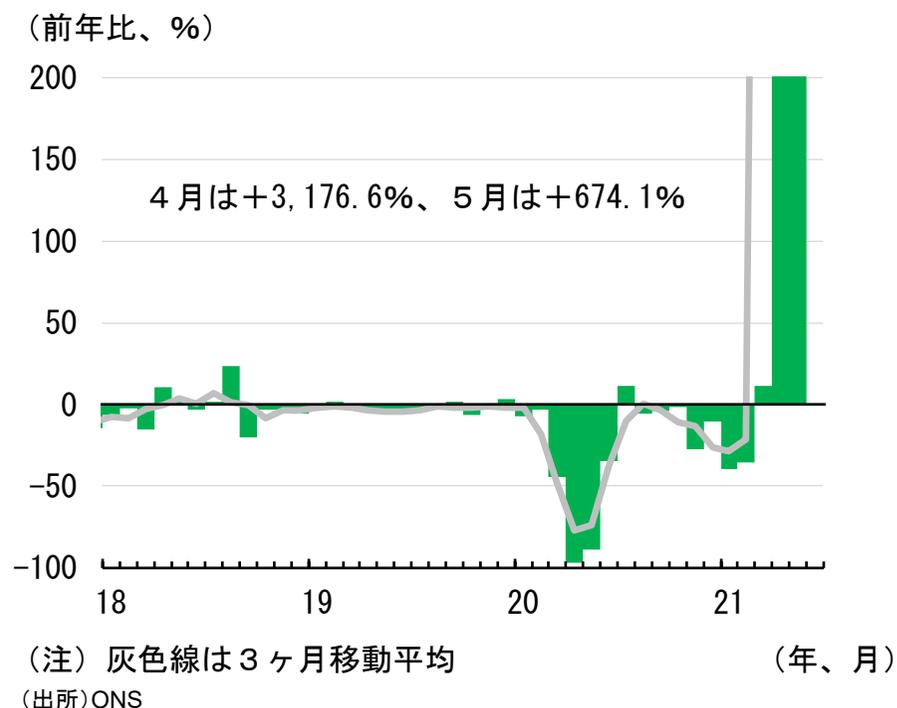
## 英国景気概況③ 消費は回復している

英国の5月の小売数量(除く石油)は前月比-2.1%と1月以来の減少となったが、均した動きは増加基調を維持している。また同月の新車販売台数(乗用車)は15.7万台だったが、前年の販売台数の少なさから前年比+674.1%と、記録的な増加率になった前月(+3,176.6%)から増勢は鈍化したものの、引き続き増加率は高い。

### 小売数量(除く石油)



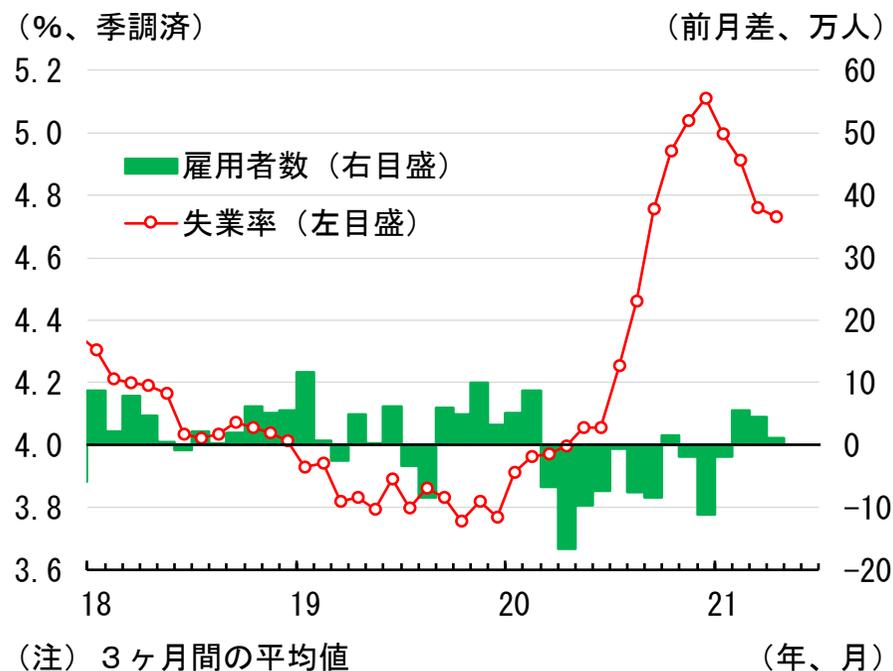
### 新車販売台数(乗用車)



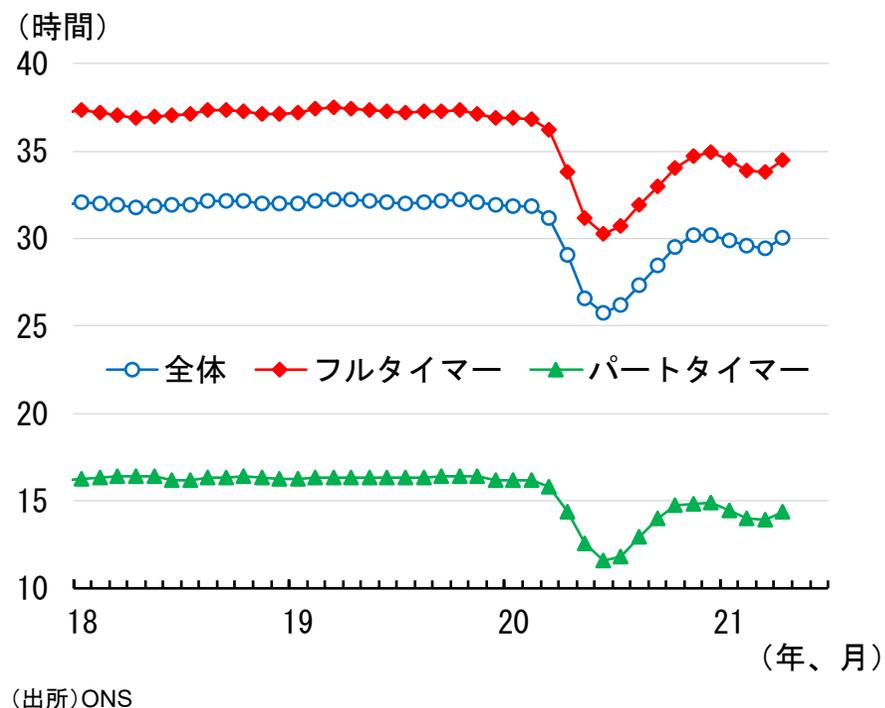
## 英国景気概況④ 雇用は改善している

英国の4月の雇用統計(3ヶ月後方移動平均)では、失業率は4.7%と4ヶ月連続で低下したが、雇用者数は前月比+1.1万人にとどまり、雇用の改善に陰りが見られる。一方で、平均労働時間は30.0時間と4ヶ月ぶりに増加した。

### 雇用統計



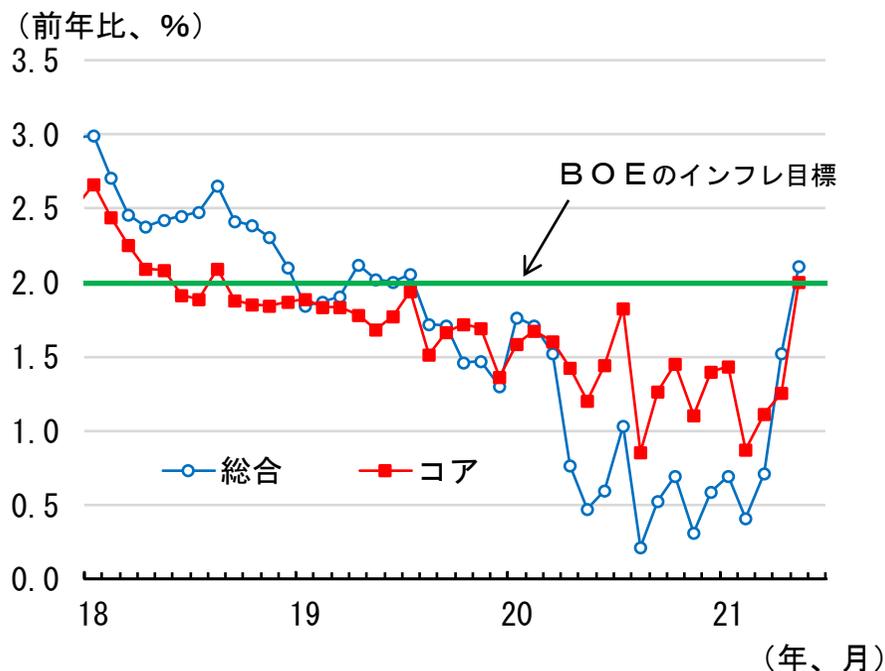
### 平均労働時間



## 英国景気概況⑤ 物価はインフレが加速している

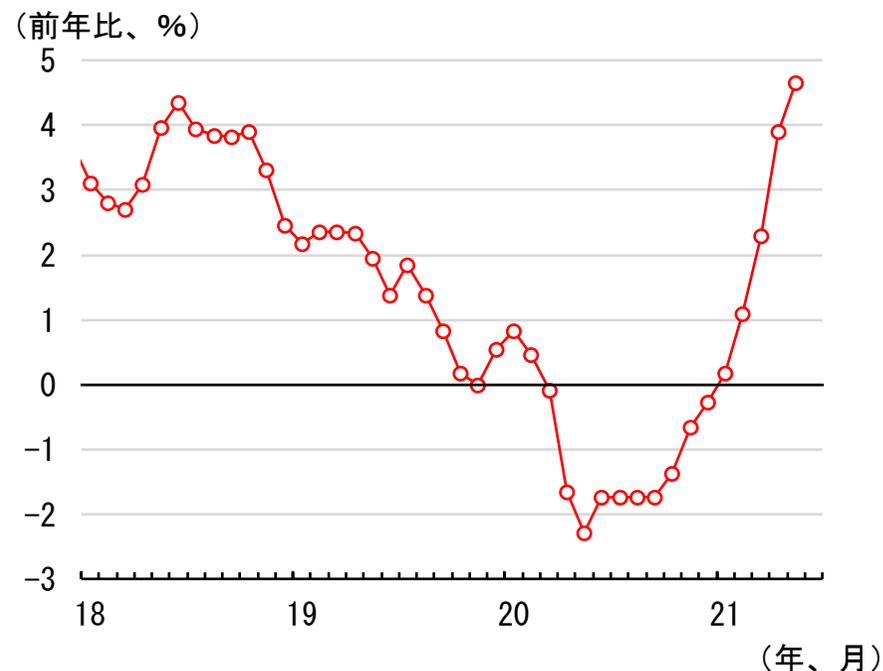
英国の5月の消費者物価は総合指数が前年比+2.1%と前月(同+1.5%)から伸び率が大幅に上昇、イングランド銀行(BOE)のインフレ目標を上回った。先行指標となる同月の生産者物価は同+4.7%と4ヶ月連続でプラス幅が拡大しており、英国ではインフレの加速が続く見通し。

### 消費者物価



(出所)ONS

### 生産者物価(投入価格、除く関税)

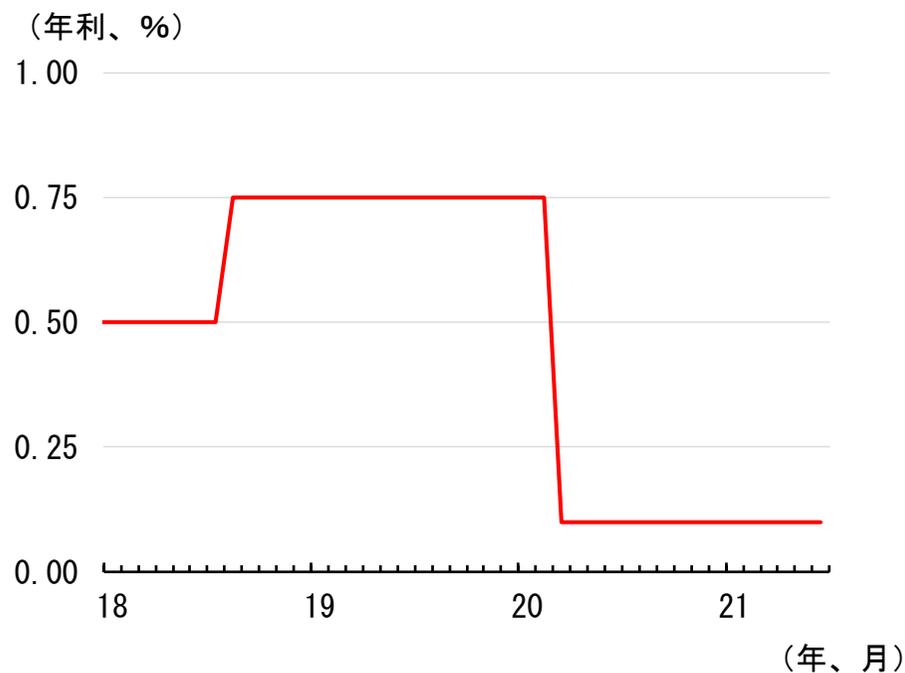


(出所)ONS

## 英国景気概況⑥ BOEは既往の金融緩和パッケージを維持

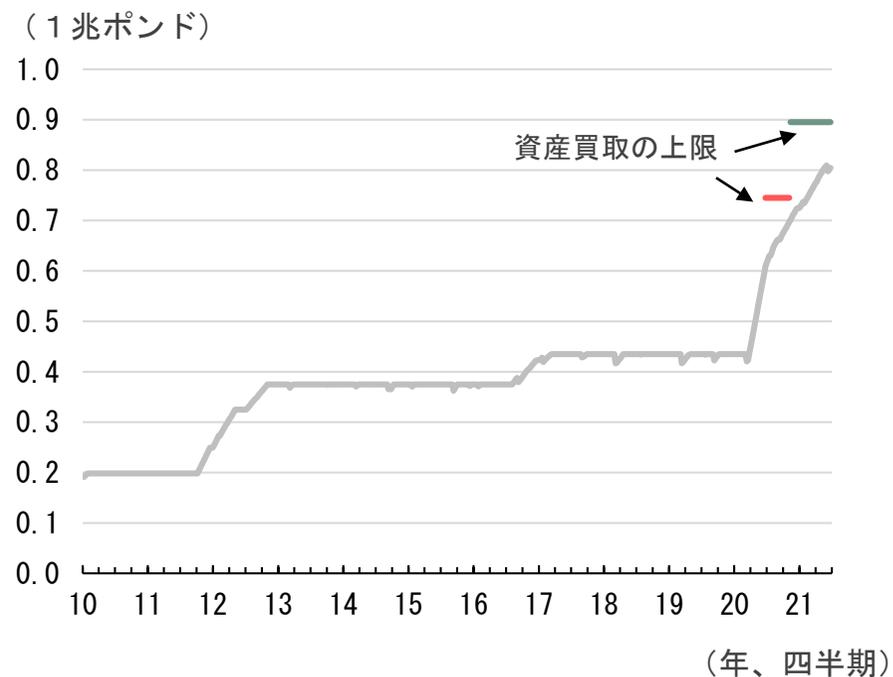
英中銀(BOE)は6月24日の金融政策委員会(MPC)で既往の金融緩和パッケージを維持し、政策金利(バンクレート)を0.10%に、資産買取プログラムの規模を8,950億ポンドにそれぞれ据え置いた。次回MPCは8月5日を予定。

### 政策金利(バンクレート)



(出所)イングランド銀行(BOE)

### 英中銀の国債保有高

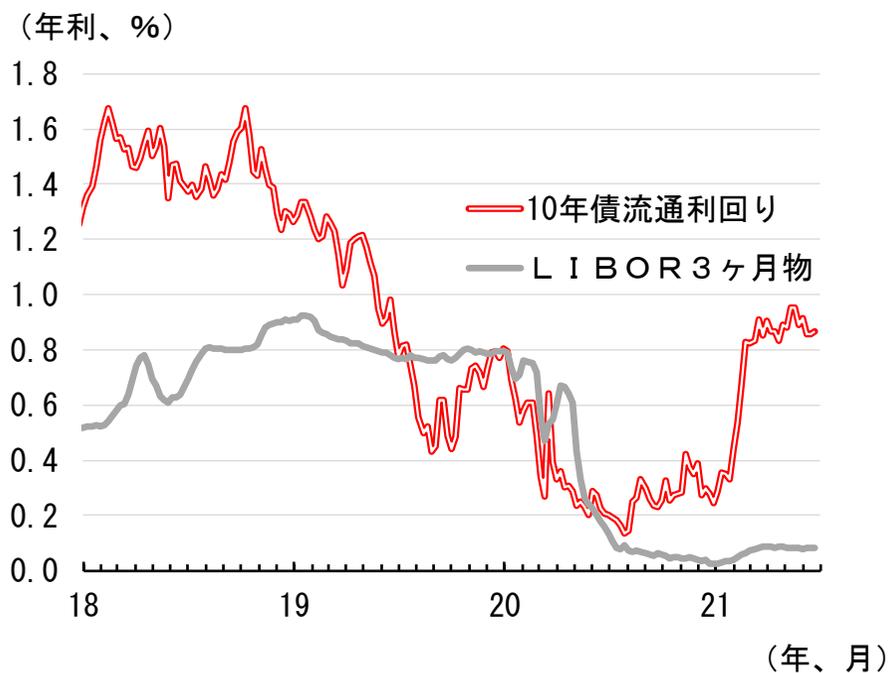


(出所)BOE

## 英国景気概況⑦ 長期金利は低下、株価は一進一退

6月の英国の長期金利は低下した。6月のMPCでBOEが既往の金融緩和スキームを据え置いたことが金利の低下を促した。一方で6月の株価(FT100指数)は一進一退となった。月前半は資源価格の回復を受けた鉱業株を中心に株は堅調であったが、月後半は米連銀(FRB)のFOMCでのタカ派的な決定を受けて株は軟調になった。

### 金利



(出所)BOE

### 株価(FT100指数)

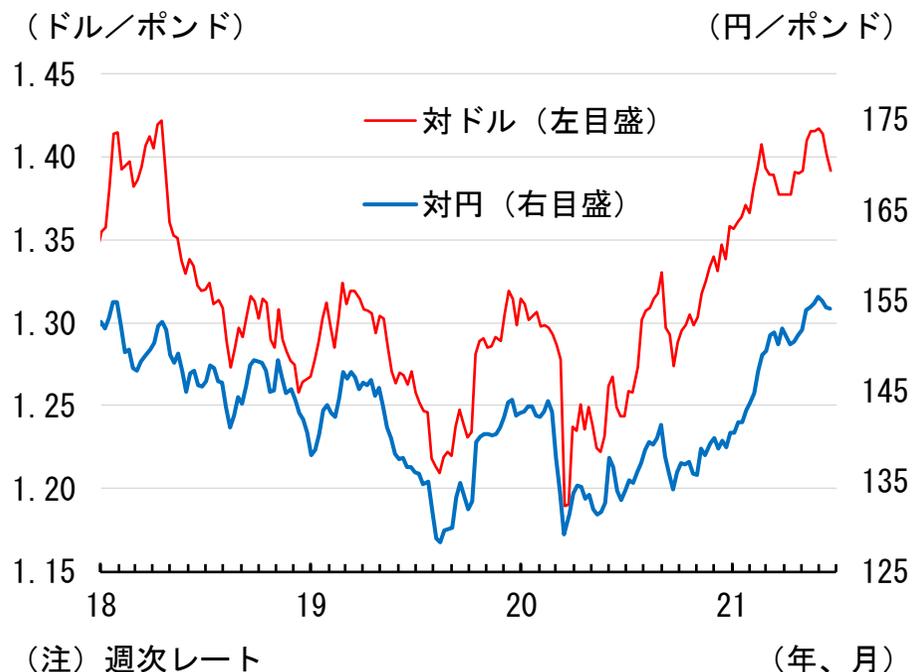


(出所)BOE

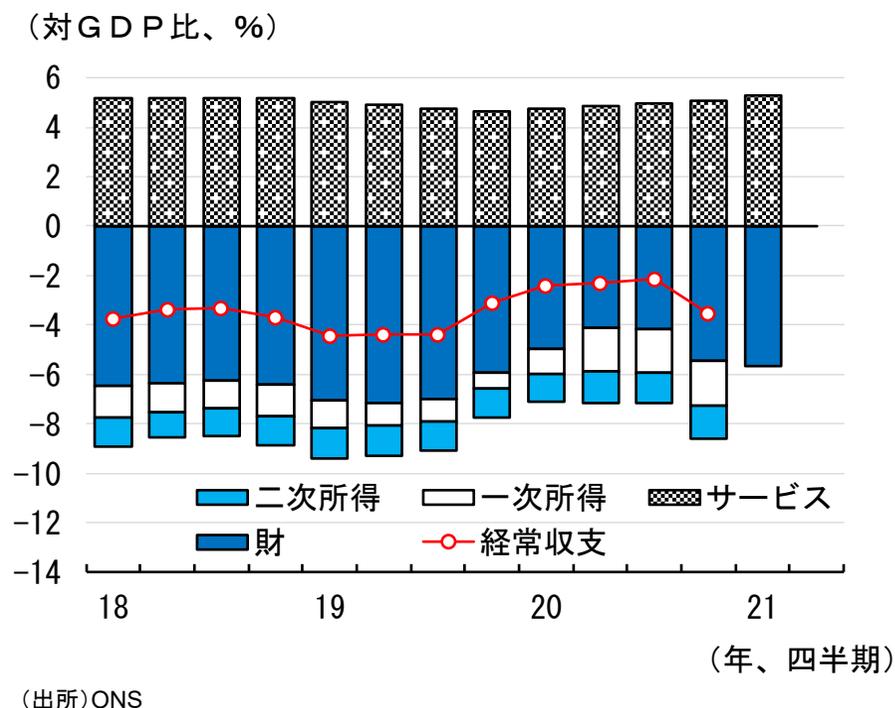
## 英国景気概況⑧ 対ドル・対円でポンド安

6月のポンド相場は対ドル・対円でポンド安が進んだ。6月MPCでBOEが金融緩和を据え置いたこと、同時に6月FOMCでFRBがタカ派的なメッセージを市場に向けて出したことがポンド売りにつながった。国際収支は経常収支赤字が再び拡大基調で推移しており、実需面からのポンド買い圧力が弱まっている。

### ポンド相場



### 国際収支



ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 土田陽介 TEL:03-6733-1628 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください